

## ■美濃の陶磁器生産用具及び製品の概要

種 類：国登録有形民俗文化財

名 称：美濃の陶磁器生産用具及び製品

ふりがな：みののとうじきせいさんようぐおよびせいひん

員 数：3833点（内訳：生産用具2983点、製品850点）

種 別：生産、生業に用いられるもの

登録年月日：2016. 03. 02（平成28年3月2日）

登録基準1：二 有形の民俗文化財の収集であって、その目的、内容等が歴史的変遷、時代的特色、地域的特色、技術的特色、生活様式の特徴又は職能の様相を示すもの

所 有 者：瑞浪市

保管施設：瑞浪市陶磁資料館

所 在 地：瑞浪市明世町山野内1-6

解 説

本件は、岐阜県南東部の東濃地域で作られてきた陶磁器の生産用具とその製品を広域的に収集・整理したものである。

良質な粘土に恵まれた東濃地域は、平安期にはすでに陶器が作られていた。江戸期に美濃物と呼ぶ生活雑器を主に生産するようになると、江戸後期には磁器も作られるようになった。明治期には輸出用の洋食器も大量生産され、地区ごとに特定の製品を生産して経費削減を実現させ、今日まで我が国の生活雑器の主産地となっている。

生産用具は、粘土を採取する採土用具から製土、成形、乾燥、絵付、施釉、焼成、販売までの用具がほぼ網羅されている。特に絵付用具のドウバンは大量生産のため明治期にこの地域で考案されたもので、焼成の際に器を保護するエンゴロとともに美濃焼の特色ある生産用具の一つである。

製品は、地区ごとに生産された各種の陶器、磁器のほか、生産工程がわかる半製品も含まれている。

※本概要は文化庁による国指定文化財等データベースを基に記載したものである。

## ■美濃の陶磁器生産用具及び製品分類表

大分類	中分類	小分類	員 数
生産用具 (2983点)	採土用具		40
	製土用具		45
	成形用具 (815点)	ロクロ	265
		タタラ	43
		鑄込み	109
		その他	127
		瓦	41
		煉瓦	10
		タイル	3
		土人形	217
	乾燥用具		83
	絵付用具		1717
	施釉用具		69
	焼成用具		195
販売用具 (19点)	荷造	5	
	運搬	9	
	関係資料	5	
製品 (850点)	半製品		25
	製品 (825点)	陶器	20
		炆器	11
		精炆器	29
		半磁器	12
		磁器	740
		その他	13
合計		3833	